

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	環境・ストック活用推進事業		<b>担当部局庁</b>	住宅局			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H23/H26		<b>担当課室</b>	住宅生産課 市街地建築課市街地住宅整備室			課長 橋本公博 室長 真鍋純	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	住宅・建築物環境対策事業費補助金交付要綱				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	2020年におけるCO2排出量25%削減(1990比)に向けた取組みを加速させるため、CO2排出量が90年比で1.4倍と最も増大している民生部門(家庭・業務)における省エネ化の取組みを一層充実・強化する必要がある。 住宅・建築物の省CO2の実現性や住宅の長寿命化に資する優れたリーディングプロジェクト等に対し支援を行うことで、住宅・建築物における省CO2対策・長寿命化を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	住宅の長寿命化、住宅・建築物の省CO2化に関する先導的な技術導入を行うリーディングプロジェクト等を募集し、学識経験者による評価委員会の評価を踏まえ、事業を採択する。 (1)住宅・建築物省CO2先導事業 省CO2技術の普及啓発に寄与する住宅・建築物プロジェクトに対する支援 (2)住宅・建築物省エネ改修推進事業 住宅・建築物の省エネ性能の向上に資するリフォームに対する支援 (3)長期優良住宅先導事業 長期優良住宅の普及啓発に寄与する住宅プロジェクトに対する支援							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	0	0	0	16,040	21,500	
	執行額							
	執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(32年度)
	(4)新築住宅における認定長期優良住宅の割合		成果実績	%	8.8 <sup>(H21.6~H22.3年)</sup>			20
			達成度	%	44			
	(5)エネルギー使用の合理化に関する法律に基づく届出がなされた新築住宅における省エネ基準(H11基準)達成率		成果実績	%	42 <sup>(H22.4~9)</sup>			100
		達成度	%	42				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施したプロジェクト数		活動実績(当初見込み)	件			( )	(310)
<b>単位当たりコスト</b>	51.7(百万円/1プロジェクト)		算出根拠	①平成23年度実施見込み件数:310件 ②平成23年度当初予算額:16,040百万円 ②/①=(16,040百万円)÷(310件)=51.7(百万円/件)				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	(項)地球温暖化防止等対策費							
	(事項)地球温暖化防止等の環境の保全に必要な経費							
	(目)住宅・建築物環境対策事業費補助金	16,040	21,500					
	計	16,040	21,500					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>住宅・建築物の長寿命化や省CO2対策に関する補助事業についての過去の行政事業レビューにおける予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、平成23年度においては、長期優良住宅先導事業においては、「住宅の新築」部門の募集を行わず、「既存住宅の改修」部門等に重点化して対象事業を重点化するとともに、住宅・建築物省CO2先導事業・住宅・建築物省エネ改修推進事業においては、事業成果を客観的に検証するため、実施プロジェクトの省エネ効果の測定等を行う予定である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					